

開かずの扉がひらくとき

一橋大学 商品陳列室・商品標本室の歴史と現況

日時 |

2018年 11月2日(金)

15:30～18:00

場所 |

一橋大学 国立東キャンパス
国際研究館 3階 大会議室

主催 |

一橋大学大学院言語社会研究科

入場無料 |

事前登録不要 | 先着40名

連絡先 |

m.koizumi@r.hit-u.ac.jp



プログラム |

第1部 15:30～16:30

研究報告

手塚恵美子 (一橋大学研究補助員)

小泉順也 (言語社会研究科准教授)

第2部 16:40～18:00

商品標本室の見学会

鼎談

片岡寛 (一橋大学名誉教授)

片岡康子 (経営管理研究科助手)

小泉順也

商品陳列室・商品標本室という部屋が東本館にあるのをご存知でしょうか。その起源は1888年に遡ります。以来20世紀末まで、商品というモノを通じた教育が継承されてきました。推定五千点に及ぶ膨大な資料は、長らく手付かずのまま放置されていましたが、2017年度から言語社会研究科と経営管理研究科の共同プロジェクトとして、整理が始まりました。現況を伝える2つの研究報告に加えて、商品学の授業を担当されていた一橋大学名誉教授の片岡寛先生をお招きして、その歴史を振り返ります。当日は初めて商品標本室を一般公開します。この機会に大学にある秘密の部屋を訪れてみてください。